東京今昔がギュッと詰まった路地

一大井町・東小路

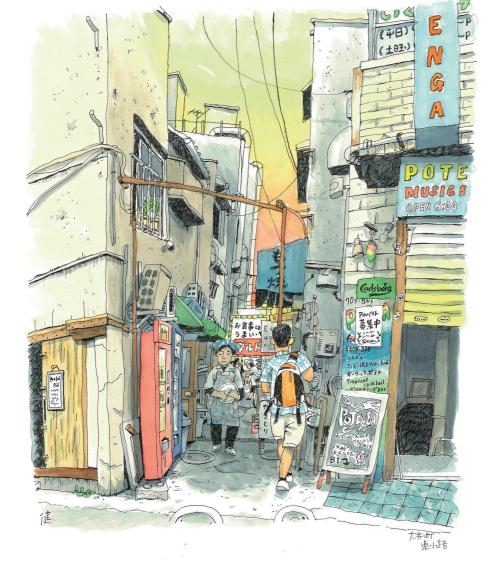
乗って普段より描き込んだのが左のスケッチ。 焼きの店 年代には約20 東小路」入口付近です。 スナックなど、 プ 0もの飲食店が軒を連ねたという路地に、 П ? 女性から、 ざっと50軒以上がひしめきます。 戦後すぐから小商い 「いやあ、 お兄 プロ さん の店が立ち並び始め 上に うか プロかと聞 大井町駅」東口からすぐの口かと聞かれ、つい調子に うか……」 今も洋食、 食、寿司、モツ、最盛期の昭和 子

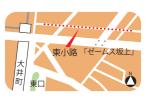
た空気がオジサン ばすと壁に届きそうな狭さの路地が東西に延び、 駅周辺が広々と整備された割に、 を引き付けます。 再開発の手が入らなかったこの一画 昭和の香りがギュ ッ は、 と詰 両手を \emptyset 込ま

う ンチカツ定食をカウンターで待っ ただしこの路地には の表現がふさわ メンチカツさえも外国人の手になるわけか 腹ごしらえに洋食屋ブ 何と中国語。うし 「グロ 振り向く ル てい ルド る 宍戸錠と小林 グロ 「無国籍 コ クと店 ル 化



路地にせり出した洋食屋の看板。 ちと大きすぎないか





みちのくの夜寒を温める人情通り

―八戸・たぬき小路

昔ながらのまちに心引かれる人も少なくないはず。 中にはパリやNY の写真には泥んこ道に転がる鍋を野良犬が漁る風景が写っているんですから。 つろげる場所だってあるのです。 急速な経済成長を成 の中心街さながらにオシャ し遂げた戦後日本。 例えば高級住宅地の渋谷区松濤も、 大方の都市は年を追うごとに様変わり な通りも登場しています。 猥雑で古臭いからこそホッとく 戦後間もなく しかし、

ます。 狭い路地の両側に小体な飲食店が軒を連ね、 「五番街」が続きますが、 青森県の八戸に、 「はい、 ホッキ貝」。愛想のいい女将から、5人も座れば満席のカウンタ 奥行き40mほどしかない 健全なオジサンは踵を返して小料理屋のノレンをくぐり 奥へ行けば怪しいムードのスナック街 「たぬき小路」という通りがあります。 -越し

には昭和の香り漂う横丁が8つもあります。 はこの八戸、 土地でしか味わえない旬の肴にありつけるのは、 に受け取った刺身は、 知る人ぞ知る〝横丁のまち〟 肉厚でほんのり甘くコリコリした食感。 「たぬき小路」 旅の至福です。 周辺 その 実

通りにない風情と人情が何とも捨てがたい。 時代から取り残されたような横丁ですが、その分、整然とした表





